



よく学びよく遊ぶ

校長室だより

NO. 23

令和2年2月17日

豊橋市立牟呂小学校

三河港の魅力発見！6年生がクイズカルタ体験！

2月5日（水）に、6年生が出前授業で「三河港 eyeQ カルタ」を使い、三河港の役割や魅力を学びました。三河港について、事前に学習した成果を発揮して、楽しくカルタ取りをすることができました。当日は、豊橋市長の佐原光一様も来校し「神野新田の向こうは、世界とつながっている豊橋港があります。興味をもって学んでください」と話をされました。子どもたちは「クイズカルタをきっかけにして、三河湾の施設などについて知ることができてよかった」、「ドローン体験をして、将来ドローンを使った仕事をしてみたい」などといった感想をもちました。

クイズカルタで三河港理解

中部地整局三河港湾事務所など作製
豊橋牟呂小児童が元気に挑戦

遊びながら三河港の役割などを学べるクイズカルタを、国土交通省中部地方整備局三河港湾事務所と豊橋市みなと振興課の若手職員が作った。5日、同市立牟呂小学校6年生がクイズカルタに挑戦した。

同港に親しみ、身近に感じてもらうため44枚の札を作製。1枚がA3サイズのジャンボカルタで、コンテナや輸出入自動車、モータープールなど取り扱った製品、施設、機能のほか、三河湾の生き物や島、地域の名物なども取り上げている。とり札には、これらの写真などを掲載。「目で見て（eye）、クイズ形式で問いかね（Q）、知識を向上させる（I）、遊び、学べるカルタ」とし、「三河港 eyeQカルタ」と名付けている。

牟呂小6年の133人はクラスごとに挑戦。職員が「港にある、車がたかさんとまつている場所は？」と読み上げると、児童たちはモータープールの札を探し出した。この日に向け、練習してきたという中立健太君は「三河港について知ら



とり札が目がけていく児童たち「牟呂小学校で

なかつたけど、クイズカルタで分かるようになった。札にある漢字（しゅんせつ）というのがも理解。お父さんも工事関係の仕事をしているので、知れてよかったと話した。

クイズカルタは今後、催しなどで活用し、地域の人や子どもにも三河港への理解を深めてもらう。

（中村晋也）

2月6日（木）
東愛知新聞に掲載
他に中日新聞にも
掲載されました

地域の方からうれしいお話をいただきました

先日、地域の方からうれしいお話をいただきました。牟呂水神町の真裏口公園あたりの横断歩道で車を止めると、下校時の子どもたちがお辞儀をして左右を確認して横断歩道を渡っていったそうです。3、4年生ぐらいの子たちだったようですが、「とても立派な子たちですね」と感心してみえました。



地域の方に挨拶ができたり、きちんと交通ルールを守れたりする子が増えて、とてもうれしいです。

これからも、子どもたちのよい情報もたくさんいただけるとありがたいです。

「ええじゃないか！」4年生が練習をスタート！

4月12日（日）の牟呂八幡宮の例大祭での「ええじゃないか」踊りの披露に向けて、4年生が練習をスタートさせました。まずは5年生の見本を見て学ぶところから練習に入りました。牟呂小のよき伝統が、先輩から後輩へ受け継がれていく瞬間です。

150年前に牟呂大西で起きたと言われる「お札降り（天からお札が降る）」の騒動について、当時の人々がどんな思いで踊ったのかを学びながら、練習をすすめていきます。4年生の頑張りが楽しみです。